

平成25年第12回松阪市教育委員会定例会会議録

日時 平成25年9月30日(月)

午後2時30分 開会

午後3時25分 閉会

場所 教育委員会室

■報告事項

- 1 松阪市私立高等学校振興補助金交付要綱の一部改正について
- 2 平成26年度松阪市立幼稚園園児募集について
- 3 旧長谷川邸の活用等について
- 4 旧長谷川邸の特別公開日の追加について
- 5 阪内川スポーツ公園公金収納事務の委託について
- 6 児童生徒の問題行動等について

委員長 　ただ今から、平成 25 年第 12 回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

最初に前回の会議録の承認を行います。会議録は、事前に委員さんに送付されており確認をいただいておりますので、よろしければ署名をお願いします。

(委員全員の承認による署名)

委員長 　今回は、議案がありませんので、報告事項に入ります。報告事項 1 から 6 を事務局より説明願います。

(事務局説明)

委員長 　ただいまの事務局の説明に対し、ご質疑はございませんか。

委 員 　今回中学校生徒の問題行動について、8 月は一番発生状況があると思われませんが、状況はどうでしょうか。

事務局 　生徒間暴力についてはクラブの指導中にあった事例になります。練習中にちょっかいをかけたが、顧問が居合わせ、すぐに注意指導を行いました。夏休みについては、顧問がクラブで指導しておりますので、普段よりも目が行き届いた指導ができる状態にあります。

委 員 　生徒間暴力ではなく、夏休み中の家での問題や喫煙の問題、祭りで遅くなる等、そういったことが多いように思いますが、他県ではいろんな問題がありますが、松阪市では生徒間暴力のみということで、こうした事が起こっておらず、指導が行き届いていると捉えていいのか、8 月だからあまり学校へ来ていないため、目につかなかったということになるのでしょうか。

事務局 　窃盗、万引きについては家にいるときにいたりしますので増える傾向ですが、夏休み前に指導したり、商業施設への巡回をすることで未然防止に努めています。いろんな場面について夏休み前から全体集会等の際に、子ども達に呼びかけたりすることで、発生を抑えるというような取組が進んできたのだと思います。

教育長 学校の指導の取り組みが未然防止に功を奏したということがあろうかと思えます。データでは平成 25 年度の 8 月しかわかりませんが、学校の中では問題件数としては 8 月は意外と低い傾向にあります。なぜかという、これは推測になりますが、子どもの問題件数は 5 月、6 月に多くなります。子ども同士が学校で交わることにより、ストレスを感じ、トラブルであったり家を出たりということがでできます。そういった意味でも 8 月に少ないというのは解放されているといえますか、子ども達が接触しトラブルが起こる機会が少ないということもひとつの要因としてあげられるのではないかと思います。

委員 先月四日市の方で中学生が犠牲になる痛ましい事件が起りましたが、松阪市における子どもの安全確保に向けた具体的な取組があれば教えていただきたいです。

事務局 通学路の安全確保につきましては、各地域・保護者にご協力いただき、見守り隊等ボランティアによって行っており、年々人数が増えてきています。子どもと一緒に歩いていただいたり、危険箇所に立っていただく等、ご協力いただいています。また、痛ましい事件等がありましたので、その都度子ども達に呼びかけ、注意喚起を行っているところであります。いじめ問題につきましては、Q-U の実施や教育相談機関を設け、子どもと話す機会をもつことで未然防止に努めています。また、巡回指導員を配置し、悩みを聞いたりすることで、アンテナを高くし、未然防止に努めています。

委員長 子ども達は防犯ブザーを持っているのでしょうか。

事務局 入学時に防犯ブザーを配付しています。ランドセルにつけており、いつでも使用できるようにしています。子ども達も意識しており、電池交換・修理等を家庭で行っております。

委員長 後ろから羽交い絞めにされると上についているとひっぱれなくなるので、腰のあたりにつけるといいと聞きます。ランドセルだと肩紐でするので大丈夫かと思えます。それから、京都の方で通学団の児童の上を車が飛び越えたということがありました。少々遠回りになってもいいので、交通量の多い道を避けるべきだという話もでておりましたので、そういった点も含めて次回見直しを行う際にはよろしくお願いします。

もう一点質問させていただきます。水道事務所の隣にシンボリックな佇まいを建築されるということですが、駐車場はどうなるのでしょうか。

事務局                    その問題は直接教育委員会所管の件とは違いますので、教育委員会とは離れた部分でわかる範囲でお答えさせていただきますが、もうひとつの裏手の駐車場もそうですが、その問題は8月31日の観光戦略会議中間報告会意見交流会におけるアンケートの中でも出てきています。また、この内容は文教経済委員の方にも報告させていただいており、意見はありませんでしたが、駐車場をどうするのかは、ひとつの課題であり、観光交流課の方で検討しております。

委員長                    有効利用ということを考えても、駐車場は隣接しているのが理想かと思えます。

委員                        園児募集についてですが、最近保護者の就労形態の関係もあり、保育園がいっぱいになったりしますが、旧松阪市内の幼稚園において需要は多いように思いますが3歳児保育をしている園が少ない理由はなぜでしょうか。

事務局                    3歳児保育については、導入から徐々に増えていますが、旧松阪市内においては拠点園という形で進めております。保護者の方からもご意見等は整備計画説明の中で聞かせていただいております。現状としましては、旧松阪市内については拠点園でやらせていただくという形になっており、嬉野、三雲については以前からやっている経過もあり、これからもやっていくという形になります。

教育長                    3歳児保育については、保護者地域の方々からの実施の要望があります。松阪市の方針としましては事務局の説明のように拠点園を設けています。旧市においては伊勢寺、西黒部、松尾、射和、大石を拠点園としています。3歳児の保育をやってくれたらもっと園児が集まるということをおっしゃいます。今まで長い保育幼稚園行政の中で、保育園が足らなくなり、民間の保育園に頼んでいた経緯がございます。今ここで公立幼稚園の3歳児や募集定数を増やすことで、私立保育園・幼稚園の園児数に影響がでてくることにつながりかねませんので、市の方針として、そのあたりは全体の園児数を見ながら慎重に協議を進めている現状があります。単純にすぐに3歳児保育を増やしていくというのは難しいところがあります。

委員 幼稚園の給食について、平成 26 年 9 月から 5 園で給食が開始されるということですが、他のところはやっているところがあるのでしょうか。

事務局 幼稚園は小学校に隣接された園が多くあります。完全給食を目指す中で、今回の 5 幼稚園については独立幼稚園になります。併設する幼稚園については学校と同じように給食を提供していましたが、公平性を保ちながら給食を実施していきたいという形の中で、完全給食を目指すという考えのもと、給食を実施していきたいという形で掲載させていただいております。

委員 5 幼稚園においてベルランチで一斉に作っていくわけですから、ベルランチで作って配食していくわけですね。

事務局 ベルランチから給食を配送予定です。

委員 アレルギー問題が大きいですので、学校だけでやるわけではないので、単独でやる場所よりは神経を使われるかと思いましたが質問させていただきました。

事務局 ベルランチでは 7 中学校に給食を提供していますが、栄養教諭を配置しており、ベルランチ内にアレルギー食を作る専用の部屋がございます。栄養教諭指導のもと、作っております。また、入学当初に保護者にアレルギーの有無についてアンケートを通じて把握し、聞き取ると同時に医師の診断書をつけていただいております。毎月献立を立てますが、細かく記載された献立表を保護者に確認をしていただき、書類のやり取りを 2 回確認していただき、学校長を中心として栄養教諭、給食担当職員、養護教諭等の委員会ですっきりと対策をしていただいております。全ての学校がそのような形の中でしっかりと指導させていただいております。

教育長 幼稚園の園児募集に関わりまして、平成 27 年度から休園基準を見直しますとありますが、平成 27 年度から 5 人から 15 人という基準の見直しを進めております。その該当の幼稚園に事務局職員が保護者地域の方を対象に、説明会を開いております。その中でいくつか意見がでておりますので、そこで出た意見や、それを受けてこれからどうしていくかは難しい部分ですが、方向性なり説明をお願いしたいと思います。

事務局

平成 27 年度から休園基準が 5 人から 15 人になるということで、15 人未満になっている幼稚園において説明会をさせていただいており、阿坂幼稚園、機殿幼稚園、大石幼稚園、漕代幼稚園にうかがわせていただきました。休園基準が 5 人から 15 人になるということで、そのあたりを非常に心配されております。本年度については総園児数が 5 人の場合は休園となりますが、平成 27 年度からは 15 人未満なら休園ということで、整備計画の中で計画をしております。27 年度の園児募集の時点で 15 人を割るような形となった場合は、保護者、地域、幼稚園の方々と相談しながら決めていくということを考えております。それぞれの園の方で、幼稚園の特色を活かしていただき、園児募集の取組を進めていくということを考えております。

整備計画の中で、中学校区に 1～2 園に整備していく計画があり、大石幼稚園の場合は大江中学校区に 1 園しかございませんので、園児数も含めて協議を進める形となります。

事務局

一点訂正をさせていただきます。防犯ブザーについて配付し、活用しておりますが、平成 23 年度の事業仕分けの中で指摘をされ、平成 25 年度からは配付しておりません。そのかわり、ヘルメット・帽子配付について堅持させていただきました。ブザーの代わりに地域の方のボランティア参加や、メール配信をすることで対応しております。

委員長

他にございませんでしょうか。

(委員から「なし」の声)

委員長

ないようですので、報告事項 1 から 6 は承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

委員長

ご異議なしということでございますので、報告事項 1 から 6 は承認いたしました。その他の項ですが、何かございませんか。

事務局

次回の教育委員会定例会は、平成 25 年 10 月 23 日（水）午後 2 時 30 分から教育委員会室でお願いします。

委員長

それでは、これで第 12 回松阪市教育委員会定例会を終わります。